

地域おこし協力隊通信

vol.3

年が明けて本格的に雪がつもりだし、関東とは違う雪をいろいろと体験しています。

雪は降るものと思っていました。でも、寒い地域では雪は降るだけではなく、舞うことにも気づきました（そして漂うことも）。吹雪ほどではない弱い風でも地面や屋根から舞い上がり、視界が悪くなることにいたく感心?しています。穏やかな日にふわふわと舞い降りる雪、車の後ろにできる雪煙、吹雪のときの激しく動き回る雪など、風と気温とともにいろいろな表情を見せる雪を楽しんでいます。



幌延小学校裏にある「ふれあいの森」を探索したときのことで。まちなかは除雪されていて歩くにはブーツで十分だったので、長靴を履いていきました。通行止めを示しているかのような除雪最終地点の雪山を乗り越え、何も足跡がない林道へ。忘れてました、腿のあたりまでズボズボと埋まることを！昔、干潟で埋まり困ったことを思い出し、前進は断念。

スノーシューの入手と再挑戦を目論みつつ、改めて除雪の大切さ・ありがたさを感じました。除雪して下さる方々、いつもありがとうございます。

地域おこし協力隊への意見・メッセージを募集いたします

今後の協力隊に取り組んでもらいたいこと等の意見・メッセージを下記問い合わせ先までお寄せください。

問い合わせ先 幌延町地域おこし協力隊 電話 5-1111 (内線 226)
メール kyoryokutai01@town.horonobe.hokkaido.jp

「ふるさと納税」返礼品ご紹介

今月は、「秘境駅キーホルダー」の「問寒別駅」をご紹介します。

入場券を模した切符タイプのデザインで、町内8駅すべての「キーホルダー」があります。



本物そっくりのキーホルダーをさりげなく飾れば、オシャレ間違いなし!!

5,000円のふるさと納税で、このキーホルダーを含めストラップ、記念きっぷの3点セットを進呈しております。

問い合わせ先
幌延町役場 総務課企画振興グループ
電話:01632-5-1111(内線222・223・224)
FAX:01632-5-2971

無人駅：問寒別駅 ~今月の駅ノート~

北海道には、かつての貨物列車の後ろに連結されていた貨車の車掌車（緩急車）を駅舎として使用している貨車駅舎が多く存在しており、町内には、問寒別駅、安牛駅、上幌延駅、下沼駅と4駅存在します。今月は、そんな貨車駅舎の問寒別駅の「駅ノート」をご紹介します。

駅舎内には、「トイカンベツ歴史探検隊」という紙芝居風問寒別物語も飾られており、地域の歴史を学べます。皆さまも、問寒別駅へ歴史探訪してみませんか？



リニューアルされた問寒別駅
赤いポストがアクセント

「20年ぶりの訪問。昔は確か列車の行き違いができたはずだが。」

埼玉県所沢市

新潟県十日町市

中国・遼寧省大連市

宮崎県宮崎市

この間、あちこち転居し、結婚・離婚もした。

だが、なぜか20年前に、この駅に来た時のことはよく覚えている。

さて、これからどこへ行くのか。

皆さん、良い旅を。」

◀取材記者・プチ鉄Y▶

毎日ではなくても、しっかりと思い出に残っている場面や場所が人にはあるものです。

誰かの思い出の中で生き続ける無人駅、ステキですね。

「さて、これから～」とは、次の当てのない行先なのか、それとも「人生」のことなのか。

「人生」について考えさせられる文面でした。